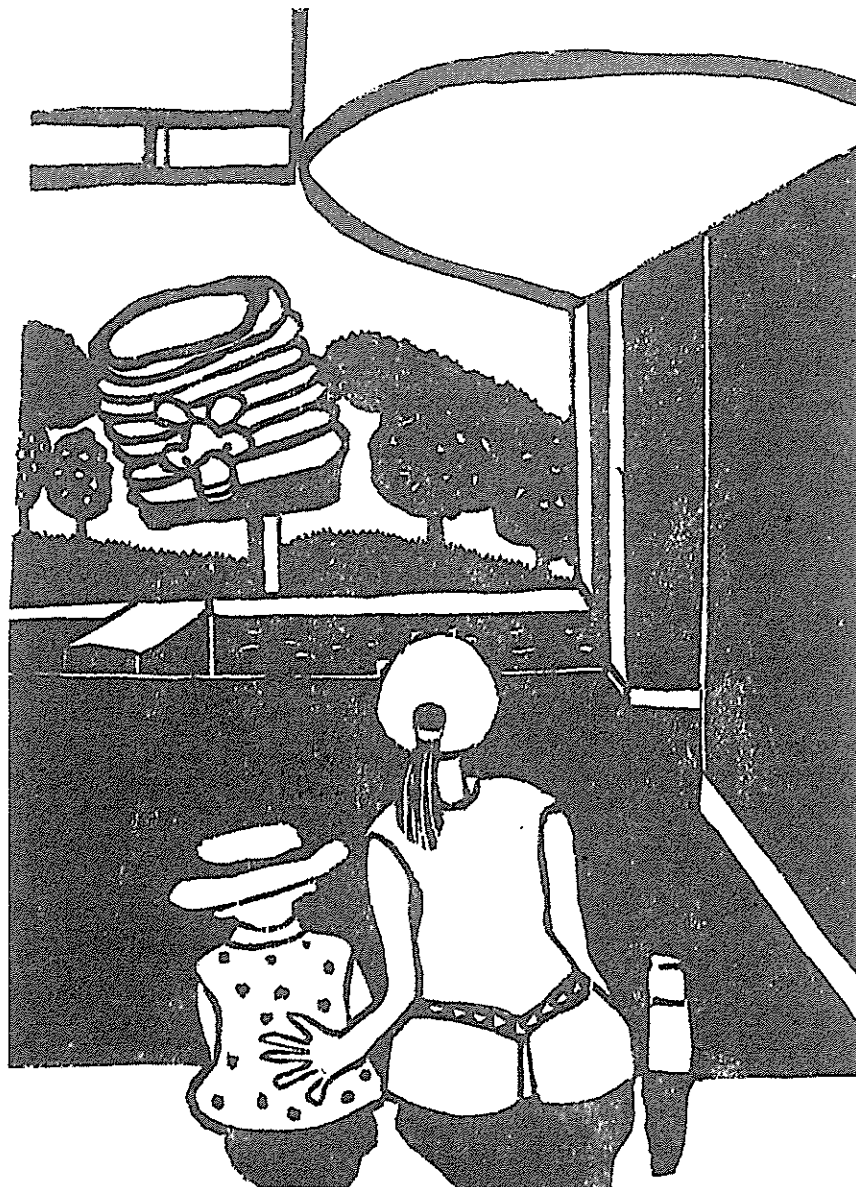


生活創造しんぶん Wa'Wa'Wa'

編集・発行

姫路生活科学センター内 生活創造応援隊



ほらみて どうせんよ 中塚 勝美 作

お母さんの手のしぐさがいいですね。
そして母子の体の傾き具合が、象さんの
モニュメントと同じというのがユーモア。

版画にユーモアは大切なテーマで、
中塚さんの版画の、たとえば廿の子の帽子。
ふっとうれしくなるユーモアです。

そこに作者の人柄が思えるのです。

岩田 健三郎

も く じ

- ◇ 《福崎生活展》雪振る寒さの中、開催！！ P2
- ◆ ひょうご環境体験館／もったいない倶楽部作品展 P3
- ◇ エコツアーリズムバスで淡路へ研修 P4
- ◆ ナチュラル薬膳レシピ／姫路菓子2008 P5
- ◇ 『買物袋持参中播磨運動』意識と行動調査の
アンケート結果 P6～P7
- ◆ センターから…欠陥製品のリコール P8

《福崎生活展》雪振る寒さの中、開催！！

「あなたのエコな生活を教えて！」コーナーに来館者の多くが参加しました！

2月24日(日)小雪舞うなか福崎町・福崎町婦人会・福崎町消費生活研究会の三者が主催する生活展を開催しました。足元の悪い中、多くの参加者に来ていただきました。

ホールの北・東の壁面には福崎町内4幼稚園児の絵画で埋め尽くしました。今年はゴミの分別方法が変わり新たにミックスペーパー回収袋が必要となり、この袋を住民の参画と共同により作成し、そこに園児達の未来の夢、再生される紙に託した思い、環境をどう捉えているか、こんなテーマで絵を描いてもらいました。

10時を過ぎる頃から園児を交えた家族連れの来場が目立ち始めました。例年は紙すき葉書に描いてもらっていましたが今年は量だけでも圧巻です。ゴミの袋が大切な宝物と見えてきますから不思議です。きっと持ち帰られると大事に飾られそうです。



今や「エコな生活」は当然の事です。他の人がどんな事をしているか、何に関心があるのかを来場者にアンケートしました。いつもは悪質商法の被害者を一人でも少なくにと、にこやかな笑顔をたたえながら講座や交渉にと励んでおられる福崎町生活科学センターの相談員さんが巧みな話法で語りかけてアンケートは順調です。町長も「えらい関門があるなあ。」と言いながら「家族みんなでお風呂にはいろう」等と提案されました。



質問は冷暖房の設定温度と使用の時間、待機電力への配慮、アイドリング、マイバッグの持参など多岐にわたっています。実践している内容の欄にシールを貼る作業はゲームのようで参加しやすい様子です。

貼ってくださった方を100として・・・！

さて、その結果は？

冷暖房機の設定温度を夏は高く、冬は低く、と厳しくするよりも使用時間を出来るだけ減らす努力をしている人が多い事(約1.5倍)がわかりました。

買い物の際マイバッグを持参している人は約80%でした。「ゴミの分別を徹底しリサイクルできるようにしています」の項目は、ほぼ100%です。町内で、この1月からゴミの分別方法が変わり、関心が高くなった時期との関連があるかもしれませんが、うれしい結果です。

「アイドリングしないようにしています」の項目は冬という季節のせいかもしれませんが約65%でした。ドライバーのみなさん！努力してください！もちろん同乗者も協力を！

「主電源をこまめに切って待機電力を節約しています」は約65%。待機電力に関心を寄せるようになって久しいと理解していたのですが、便利さに慣れてしまっているのでしょうか。

機会を逃がさず、少しずつ、少しずつ環境への関心を高めていきましょう！

ご参加、ご協力ありがとうございました！

(福崎町消費生活研究会)

ひょうご環境体験館

— テクノに環境学習の拠点! —

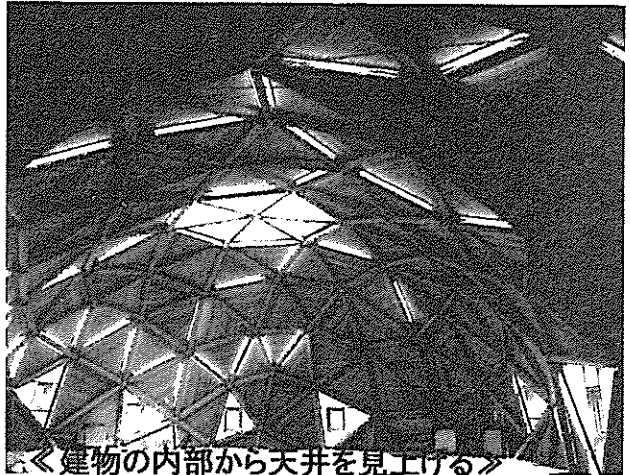
兵庫県では、地球温暖化をはじめとする環境問題について、体験活動等を通じて県民一人ひとりの意識の向上に資するとともに、県民による環境の保全と創造に関する活動を促進するための環境学習の拠点施設として、「ひょうご環境体験館」を播磨科学公園都市内(佐用町域)に平成20年3月20日(木)にオープンします。

建物に導入された地球温暖化対策技術とともに、映像や参加体験型プログラムにより地球温暖化を始めとする環境問題について、「感じ」、「学び」、「知る」ことのできる施設内には地球工房・わんぱく広場・エコギャラリー・シアターなどがあり、環境学習事業として「環境学習プログラム」「人材育成」「地球温暖化防止活動支援」「展示・情報提供」などが展開されます。

建物には県内の間伐材が使用され、トラス構造で屋根が作られています。木材には二酸化炭素を留めておく性質があることから温暖化防

止対策として最適な環境になっています。

私も地球温暖化防止活動推進員としてエコハウスサポーターで参加する予定です。来ていただいた方に今まで以上に地球温暖化について関心を持っていただき、エコな生活を意識した暮らしに反映できたらよいと思っています。



大きく建物の内部から天井を見上げる
(応援隊 溝口 章宏)

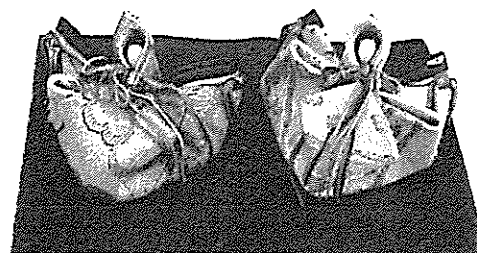
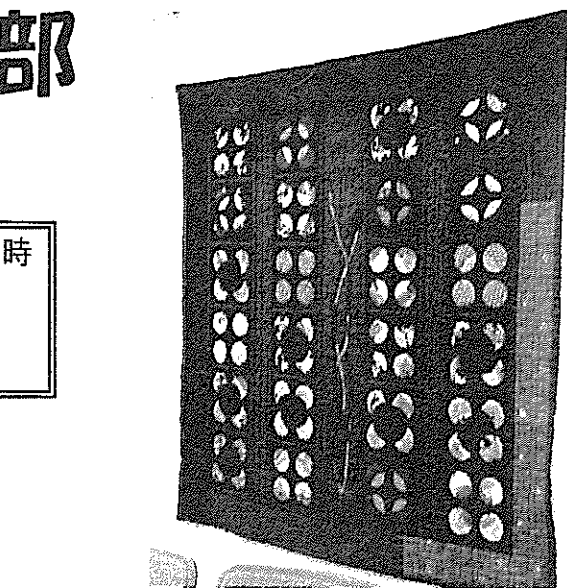
もったいない倶楽部 作品展

日時 3月11日(火)～14日(金)10時～16時
場所 神崎郡神河町福本
中播北部行政事務組合
クリーンセンター 再生棟

きもののリフォーム作品だけではなく
かわいい小物やパッチワーク
タペストリーやバッグなどを展示しています。

3年半の作品のありこまち展
甘いお菓子をご用意しています。
つまんでいただきながら
辛口の批評と応援の言葉がいただけたら
会員の励みになります。うれしいです。

どうぞ多くの方に
お越しいただきたいと思っています。
(もったいない倶楽部 代表 小西 英美)



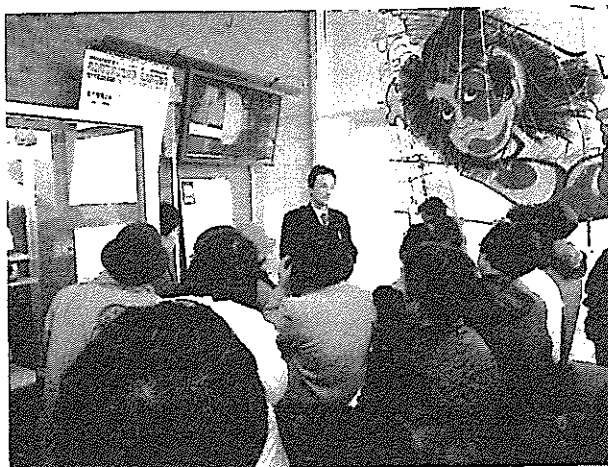
エコツーリズムバスで淡路へ研修

春まだ肌寒い3月1日(土)、中播磨消費者連絡協議会の研修の呼びかけに姫路市消費者協会(14人)、香寺町消費者協会(4人)家島町消費者の会(1人)、姫路消費生活研究会(6人)二水会(4人)、神河町消費者の会(2人)市川町消費者の会(6人)、福崎町消費生活研究会(6人)が参加しました。



最初に訪れた**県立淡路景観園芸学校**は広大な敷地を活きた教科書として見学者に開放されていて、ボランティアガイドの方による園内説明は大変わかりやすく親しみが感じられるものでした。

あわじ花さじきは例年なら一面菜の花畑の



風景が楽しめるそうですが、あまり花は無く、丘の緩やかな曲線の美を楽しませていただきました。

北淡震災記念公園は神戸にあります防災センターの展示とは違い、実際に被災された民家の家のひずみや傾きが分かりやすいように保全され公開されていますので、震災の恐ろしさ自然のパワーを肌を感じる思いで、災害への備えの大切さをあらためて感じられました。さらに、風力発電も見学し、その大きさにびっくりし、また、自然エネルギーの巨大さに感銘を受けました

(応援隊 小林 美波子/小國 冷子/堀次 瞳)



むくみを解消する

- ① 菜の花は半分に切って、太い部分は縦半分に切る。
- ② ①とプチトマトを塩ゆでし、ザルに上げる。
- ③ ②を熱いうちにボウルに入れ、らっきょう、らっきょうの漬け汁、しょうゆで和えて盛り付ける。



『買物袋持参中播磨運動』意識と行動調査のアンケート結果

95%は賛成。いつも買物袋持参者は40%弱

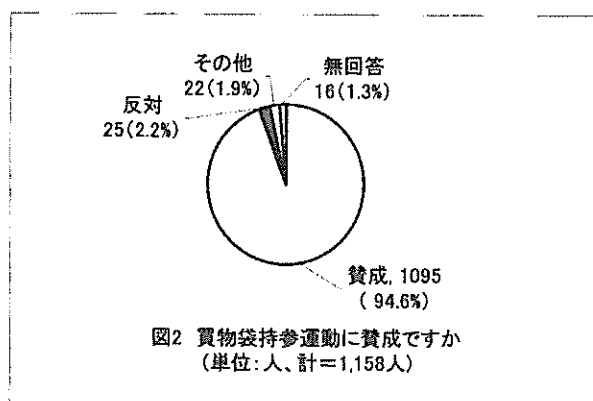
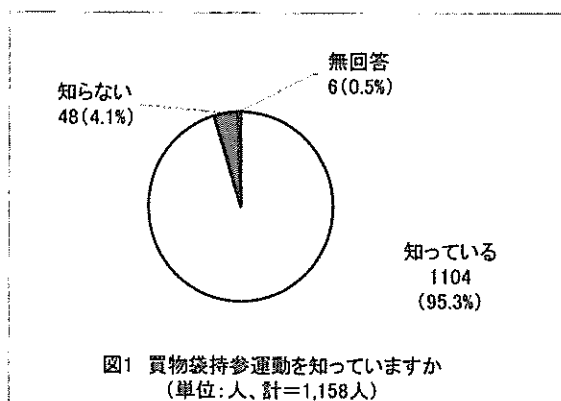
中播磨消費者団体連絡協議会では、ゴミ減量、温暖化防止などに有効な買物袋持参運動がどれほど理解されているか、また、実行されない場合の課題は何かを探るため、各会員がそれぞれ、平成19年10～11月に13量販店及び2イベント会場に来店・来場した消費者 1,158人を対象に、アンケート用紙を渡し、記入してもらい、その場で回収するという方法で調査しました。



調査結果

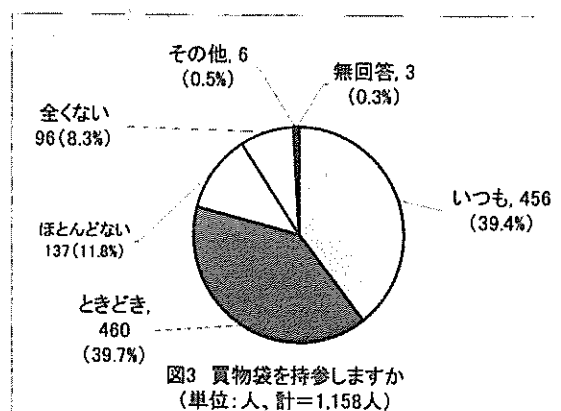
(1) 買物袋持参運動は大半が賛成

買物袋持参運動は、図1のとおり 95.3%の人は知っていましたが、4.1%の人は知りませんでした。さらに、この運動に「賛成」か「反対」か、をたずねたところ、図2のとおり賛成と答えた人の割合は 94.6%、反対は 2.2%で多くの人が理解を示していました。



(2) 買物袋持参者は半数に達せず

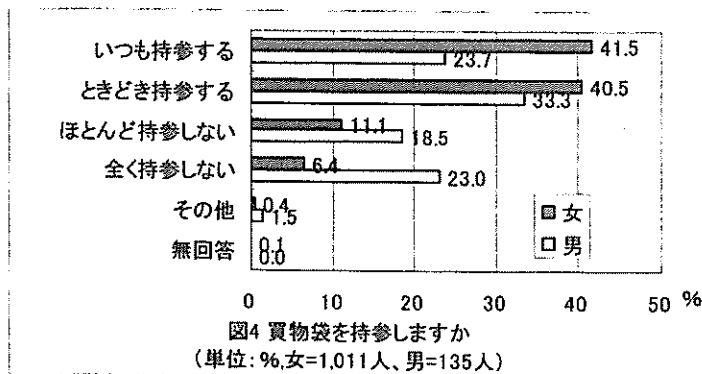
買物袋の持参についてたずねたところ、「いつも持参する」人の割合は半数に達せず 39.4%でした。また、「ときどき持参する」人の割合は 39.7%で、「ほとんど持参しない」または「全く持参しない」人の割合は 20.1%でした。



(3) 持参割合は女性の方が男性より高い

男女別に見ると、「いつも持参する」割合は女性が 41.5%、男性が 23.7%、「時々持参する」割合は女性が 40.5%、男性が 33.3%でした。

また、「ほとんど持参しない」人または「全く持参しない」人を合わせた割合は男性が 41.5%、女性が 17.5%で、男性の方が女性より持参しない割合が高くなっていました。



(4) 持参しない理由は女性も男性も「忘れる」が最も多い

買物袋を持参しない人にその理由を複数回答でたずねたところ、女性は「忘れる」が39.0%で最も高く、次いで「レジ袋がほしい」が15.0%でした。

これに対し、男性も「忘れる」という理由が29.5%で最も高く、次いで「面倒」が20.0%でした。

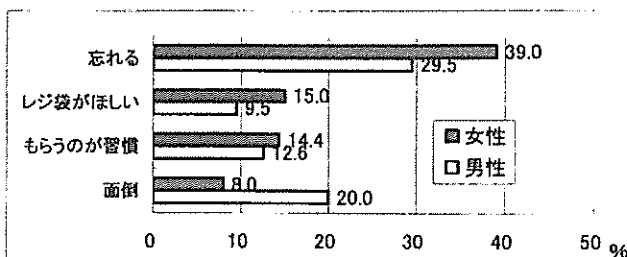


図5 持参しない理由
(単位: % 複数回答 女=439人、男性=95人)

(5) レジ袋はゴミ袋に再利用が最も多い

レジ袋の利用方法について複数回答でたずねると、「ゴミ袋に再利用」の割合が68.0%で最も高く、次いで「買物袋に再利用」32.0%、「保存袋に再利用」25.6%でした。これには男女の差はありませんでしたが、年代別では20代から50代は「ゴミ袋に」、60代は「保存袋に」、70代以上は「買物袋に」が他の年代に比べて高くなっていました。

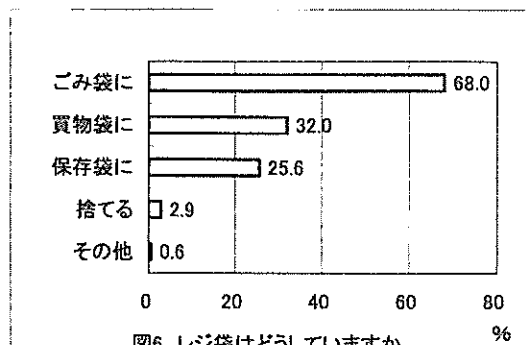


図6 レジ袋はどうしていますか
(単位: % 複数回答 N=1,158人)

(6) 無料のレジ袋がなくなったら持参するは女性が90%弱、男性は60%強

男女合わせると85.4%は「買物袋を持参する」と回答しましたが、一方で「レジ袋を買う」と回答した人も9.2%いました。男女別で見ると、「持参する」と回答した女性の割合は88.6%、男性は61.5%。一方、「買う」は女性が6.6%、男性が28.1%と男女差がみられました。

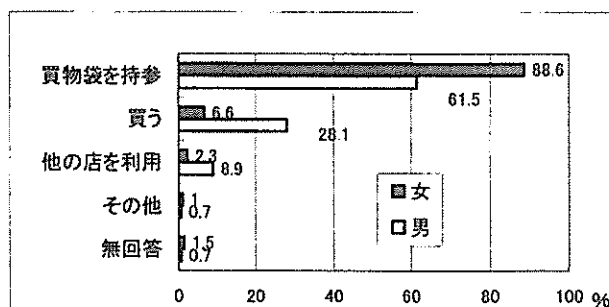


図7 買物袋がなくなったら
(単位: % 女=1,011人、男=135人)

(7) 今後、運動をすすめるためには有料化やポイント制が有効

買物袋持参運動はスタンプ運動が全国的に展開され、すでに、有料化を実施している店舗の持参率が72%以上あることなど事業者の取り組みにより、大きく前進していますが、さらに、この運動の実践者を増やすためにはどうすればよいかをたずねたところ、男女とも「レジ袋の有料化」と回答した割合が最も高く、次いで「金券やポイント制」にするでした。

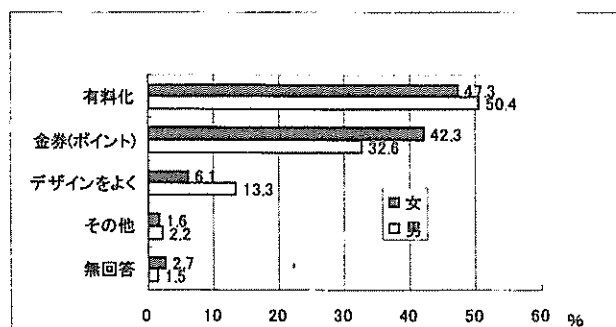


図8 買物袋持参運動を進めるには
(単位: % 女=1,011人、男=135人)

これらのことから、レジ袋の有料化やポイント制への切り替えが大幅削減につながるほか、

- 1 女性よりも持参率の低い男性にも買物袋を持参してもらう
- 2 持参しない最も多い理由の「忘れる」ことについては、一度使ったレジ袋や買い物袋をハンドバックやかばんなどに入れ、常に持参してもらう
- 3 ゴミ袋への使用は毎回交換せず、繰返し使用など最小限の使用枚数にしてもらうという工夫や知恵もあわせて啓発する必要があるでしょう。

センターからお知らせ 欠陥製品のリコール

このところ、新聞やテレビなどで企業が無料で欠陥製品の回収・修理をするリコール社告を目にすることが多くなっています。経済産業省の集計では、製品事故の多発で、昨年の電気製品などの自主回収は194件と過去最多を記録しました。

しかし、企業側がリコールを発表しても、なかなか消費者に情報が浸透せず、回収が進まないことで、さらに被害を生むケースもあります。

当センターにも、1月に姫路市内の高齢者夫婦宅で、洗濯機から発火、二人でなんとか火を消し止め、メーカーに連絡をして事故製品は回収されましたが、その後、体調を崩されていたため、訪問した地域包括支援センター職員が一連の顛末を聞き、メーカー以外の通報先を知りたいという問い合わせがありました。センターで調べたところ、1999年に製造された小型全自動洗濯機で、モーターリード線が断線し、発煙・発火する事故が発生したため、2002年にリコール対象として社告が出されていることがわかりました。

この製品に関し、メーカーは2002年から現在まで、全国紙に複数回広告文を掲載したり、販売店やリサイクルショップでのポスター掲示及びチラシの配布、ホームページやインターネットの検索エンジンへの広告文掲載など、様々な方法で広報していましたが、消費者には届かず、被害がでました。

このように社告は増えたものの、内容がわかりにくかったり、小さく見にくい为消费者が気づかないことも回収が遅れる一因と考えられます。このため、経済産業省では、企業によってばらつきのある記載内容を統一する基準を作り、事故の危険性を冒頭に明記するなど、消費者にとってわかりやすい社告様式の検討を進めています。

ご家庭にある製品に安全性に関わるような重大な不具合があった場合はメーカーに申し出るとともに、消費者センターにも申し出るようにしましょう。また、メーカーや販売店は購入者を把握できるような販売方法に努める必要があります。

☆ センターのご相談窓口をご利用いただける時間 ☆

利用時間 消費生活のご相談 9:00～12:00 13:00～16:00
休館日 土曜・日曜・祝祭日・年末年始

～平成20年度～☆ 生活創造応援隊を募集します ☆

「生活創造情報プラザ」では中播磨の各地で活動されているグループや各地のイベントなどの情報を収集し、「生活創造しんぶん Wa' Wa' Wa'」で情報発信しています。この情報紙の記事の作成などに携わり、生活創造活動の支援をしていただく「生活創造応援隊」を募集します。

いざいざとした中播磨の情報を発信していきませんか！

主な活動内容 ☆ 地域情報の収集、「生活創造しんぶん Wa' Wa' Wa'」の作成、発行、配布
☆ 生活創造プラザ事業の運営に関する補助 など

お問い合わせ先 (井上)

中播磨地域でがんばっているグループ がんばっている人・いい話を

生活創造しんぶんの紙面でご紹介します。自薦他薦は問いません。

4月18日までに原稿を郵便・FAX・Eメールでお寄せください。

※ 読まれた感想もお送りください。よろしくお願いします。

掲載内容についてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在家本町1丁目1番22号
兵庫県 姫路生活科学センター
生活創造活動コーディネーター